



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月12日

上場会社名 CKD株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6407 URL https://www.ckd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 一典
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 国保 雅文 (TEL) 0568-74-1006
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	73,061	△18.4	3,167	△24.1	3,148	△24.6	2,043	△28.6
2019年3月期第3四半期	89,504	5.8	4,174	△54.0	4,177	△54.6	2,862	△55.2

(注) 包括利益2020年3月期第3四半期 2,184百万円 (87.7%) 2019年3月期第3四半期 1,163百万円 (△86.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	33.00	—
2019年3月期第3四半期	46.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	134,993	81,796	60.5
2019年3月期	136,961	80,444	58.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 81,686百万円 2019年3月期 80,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	8.00	28.00
2020年3月期	—	5.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,000	△14.4	4,700	△13.4	4,680	△13.7	3,010	△37.2	48.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期3Q	68,909,449株	2019年3月期	68,909,449株
2020年3月期3Q	6,978,050株	2019年3月期	6,989,136株
2020年3月期3Q	61,927,058株	2019年3月期3Q	61,918,424株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
〔生産、受注及び販売の状況〕	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境は改善が持続し底堅く推移しているものの、その伸びは鈍化した。企業収益は中国向け輸出低迷などから製造業で足踏みが続き、企業の設備投資に一部先送りの動きがみられました。

また、海外経済は、米国では個人消費は底堅いものの、米中両国の関税引き上げ長期化による影響拡大により、設備投資や生産の動きが弱くなるなど、景気拡大のペースは緩やかなものとなりました。一方、中国では政府の景気対策により底入れ感は見られるものの、米国向け輸出の減少などから成長が減速いたしました。また、欧州でも輸出の減少から製造業の低迷が続きました。

このような状況のもとで、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高73,061百万円（前年同四半期比18.4%減）、営業利益3,167百万円（前年同四半期比24.1%減）、経常利益3,148百万円（前年同四半期比24.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,043百万円（前年同四半期比28.6%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 自動機械部門

自動包装システムでは、薬品向けの売上高が減少いたしました。また、産業機械では、リチウムイオン電池製造システムの売上高は増加したものの、三次元はんだ印刷検査機は中国向けの売上高が減少いたしました。

その結果、売上高は10,831百万円（前年同四半期比7.7%減）、セグメント利益は収益改善の効果により、2,026百万円（前年同四半期比276.1%増）となりました。

② 機器部門

国内市場では、メモリー設備投資延期の影響を受けた半導体製造装置向け売上高、中国経済減速の影響を受けた工作機械向けの売上高が、それぞれ大きく減少いたしました。

海外市場も国内同様に、半導体設備投資の延期に加え、中国の自動化投資が鈍化した影響を受け、売上高が減少いたしました。

その結果、売上高は62,229百万円（前年同四半期比20.0%減）、セグメント利益は売上高減少の影響などにより、4,076百万円（前年同四半期比42.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,968百万円減少の134,993百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したものの、売上債権、たな卸資産及び有形固定資産が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3,320百万円減少の53,196百万円となりました。これは主に、仕入債務及び借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,351百万円増加の81,796百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ1.9ポイント増加の60.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、機器部門では、延期されていた半導体設備投資が一部再開されたことや次世代通信に向けた設備投資が期待されることなどにより、売上高及び利益の増加が見込めます。自動機械部門では、自動包装システムで一部検収遅れによる売上高の減少が見込まれるものの、取組んできた収益改善により利益は増加が見込めます。ただし、現在、新型コロナウイルスの感染が拡大しており、その影響による一時的な景気の停滞を考慮いたしております。

上記見通しにより、当社グループの売上高は前回予想を下回るものの、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回ると予想されるため、2019年11月12日に発表いたしました通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。

なお、2020年1月1日から2020年3月31日までの期間における為替レートは1米ドル105円を前提としております。

2020年3月期 通期 連結業績予想数値の修正
(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 99,500	百万円 2,500	百万円 2,460	百万円 1,720
今回修正予想 (B)	99,000	4,700	4,680	3,010
増減額 (B - A)	△500	2,200	2,220	1,290
増減率 (%)	△0.5	88.0	90.2	75.0
(参考) 前期実績 (2019年3月期)	115,665	5,429	5,425	4,793

この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

なお、該当予想数値の修正に関する事項は、本日(2020年2月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,463	17,004
受取手形及び売掛金	22,958	21,656
電子記録債権	4,933	4,837
営業未収入金	242	206
商品及び製品	10,020	9,611
仕掛品	4,170	5,625
原材料及び貯蔵品	25,678	22,019
その他	3,009	1,490
貸倒引当金	△30	△18
流動資産合計	83,447	82,433
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,799	20,075
その他(純額)	21,845	21,057
有形固定資産合計	42,644	41,133
無形固定資産	2,376	1,917
投資その他の資産	8,492	9,508
固定資産合計	53,513	52,559
資産合計	136,961	134,993
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,681	11,332
電子記録債務	2,326	2,036
短期借入金	11,789	12,024
1年内償還予定の社債	45	129
未払法人税等	582	284
賞与引当金	2,157	1,238
その他の引当金	580	477
その他	7,168	8,877
流動負債合計	37,332	36,400
固定負債		
社債	146	31
長期借入金	16,645	14,179
その他の引当金	89	68
退職給付に係る負債	408	425
その他	1,893	2,090
固定負債合計	19,183	16,796
負債合計	56,516	53,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,390	12,394
利益剰余金	59,119	60,346
自己株式	△4,905	△4,898
株主資本合計	77,619	78,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,117	2,621
為替換算調整勘定	1,427	872
退職給付に係る調整累計額	△858	△665
その他の包括利益累計額合計	2,686	2,827
非支配株主持分	138	110
純資産合計	80,444	81,796
負債純資産合計	136,961	134,993

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	89,504	73,061
売上原価	67,699	54,349
売上総利益	21,804	18,711
販売費及び一般管理費	17,629	15,543
営業利益	4,174	3,167
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	162	140
持分法による投資利益	0	—
その他	365	315
営業外収益合計	542	468
営業外費用		
支払利息	54	168
売上割引	130	113
持分法による投資損失	—	2
デリバティブ評価損	108	13
為替差損	148	98
その他	96	91
営業外費用合計	538	487
経常利益	4,177	3,148
特別利益		
固定資産売却益	2	3
投資有価証券売却益	20	9
補助金収入	144	32
環境対策引当金戻入額	—	10
特別利益合計	167	56
特別損失		
固定資産売却損	0	1
減損損失	—	130
固定資産除却損	34	34
固定資産圧縮損	144	32
特別損失合計	179	199
税金等調整前四半期純利益	4,166	3,005
法人税、住民税及び事業税	633	566
法人税等調整額	647	391
法人税等合計	1,281	957
四半期純利益	2,885	2,048
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,862	2,043

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	2,885	2,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,426	504
為替換算調整勘定	△489	△559
退職給付に係る調整額	195	192
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△1,721	136
四半期包括利益	1,163	2,184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,142	2,184
非支配株主に係る四半期包括利益	21	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースについて資産及び負債として計上するとともに、無形固定資産に含めていた一部の資産について有形固定資産に振替を行っております。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が497百万円、流動負債の「その他」が184百万円、固定負債の「その他」が184百万円それぞれ増加し、無形固定資産が136百万円減少しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,739	77,764	89,504	—	89,504
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	72	72	△72	—
計	11,739	77,837	89,576	△72	89,504
セグメント利益	538	7,121	7,660	△3,485	4,174

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,485百万円には、セグメント間取引消去23百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,508百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,831	62,229	73,061	—	73,061
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	114	114	△114	—
計	10,831	62,343	73,175	△114	73,061
セグメント利益	2,026	4,076	6,102	△2,934	3,167

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,934百万円には、セグメント間取引消去23百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,958百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「自動機械部門」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間に無形固定資産の減損損失130百万円を計上しております。

3. その他

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	13,339	+5.9
機器部門	60,844	△23.2
合計	74,183	△19.2

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は、販売価格によっております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	12,907	△4.5	14,470	+16.3

- (注) 1. 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	10,831	△7.7
機器部門	62,229	△20.0
合計	73,061	△18.4

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。